

みずほCustomer Desk Report 2020/09/03 号 (As of 2020/09/02)

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	GBP/USD	AUD/USD
TKY 9:00AM	105.89	1.1922	126.29	1.3400	0.7377
SYD-NY High	106.30	1.1929	126.30	1.3400	0.7381
SYD-NY Low	105.86	1.1822	125.57	1.0775	0.7301
NY 5:00 PM	106.19	1.1854	125.90	1.3349	0.7336
NY DOW	29,100.50	454.84	日本2年債	-0.120	0.00bp
NASDAQ	12,056.44	116.78	日本10年債	0.040	0.00bp
S&P	3,580.84	54.19	米国2年債	0.134	0.20bp
日経平均	23,247.15	109.08	米国5年債	0.251	▲0.31bp
TOPIX	1,623.40	7.59	米国10年債	0.647	▲2.44bp
シカゴ日経先物	23,505.00	300.00	独10年債	-0.4740	▲5.80bp
ロンドンFT	5,940.95	78.90	英10年債	0.2305	▲6.45bp
DAX	13,243.43	269.18	豪10年債	0.9510	▲3.80bp
ハンセン指数	25,120.09	▲ 64.76	USDJPY 1M Vol	6.81	▲0.20%
上海総合	3,404.80	▲ 5.81	USDJPY 3M Vol	8.28	▲0.05%
NY金	1,944.70	▲ 34.20	USDJPY 6M Vol	7.80	▲0.08%
WTI	41.51	▲ 1.25	USDJPY 1M 25RR	-1.00	Yen Call Over
CRB指数	151.44	▲ 1.91	EURJPY 3M Vol	8.10	▲0.15%
ドルインデックス	92.85	0.51	EURJPY 6M Vol	8.05	▲0.14%

東京	東京時間のドル円は105.89レベルでオープン。午前中は対ユーロでのドル高の動きに連動して上昇し、一時106.13円をつける。しかし午後は特段の取引材料のない中、動意を欠く展開となり、106円を越えたあたりでの値動きに終始。結局106.07レベルで海外時間に渡った。
ロンドン	ロンドン市場のドル円は、106.07レベルでオープン。昨日の米指標を好感してのドル買戻しが続き106.28円まで上昇し、106.27レベルでNYに渡った。ポンドドルは、1.3365レベルでオープン。英中銀総裁らの議会証言を英時間午後に控えてはいたが、ドル買戻しが続いた。一時1.3326まで下落し1.3342レベルでNYに渡った。
ニューヨーク	昨日ユーロドルが1.20台乗せを達成したからか、米ISM製造業景気指数が予想を上回ったからか、海外時間でドル買いが継続し、ドル円は106.27レベルでNYオープン。朝方は米8月ADP雇用統計が予想を大幅に下回ったことから週末の雇用統計に対する警戒から106.12まで反落するが、ユーロ売りが継続したことから106.29まで戻す。10時に発表された米7月耐久財受注(確報値)は予想を上回るが、ドル円の反応は限定的となる。その後は106.11まで下押しするが、米金利が低下する一方、ドル買いが再び強まり、ドル円はじり高で推移する。午後発表されたベージュブックでは、一部の地区で雇用の伸び鈍化が報告されたことが明らかになるが、ドル円はじり高で推移し、106.30まで戻し、106.19レベルでクロスした。一方、昨日ECBのレンズ専務理事が「ECBは為替レートを目標にしていないがユーロドルのレートは重要」と話したことが材料視されたのか、1.20台をキープできなかったからか、ユーロロングをカットする動きが続き、海外市場で1.1846まで下落し、1.1857レベルでNYオープン。朝方はADP雇用統計結果を受け1.1875まで戻す局面もあったものの、戻り売りに上値を切り下げ1.1822まで下落する。午後に入り1.1849まで戻す局面もあったものの、ドル買い継続に1.1824まで反落する。終盤に掛けては調整の買い戻しに値を戻し、1.1854レベルでクロスした。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様自身の判断でなされるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償でのみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まれない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。

担当:鈴木・小林 TEL:03-3242-7070 FAX:03-3211-5825 LDN 00531-444-179 NY 00531-113-682

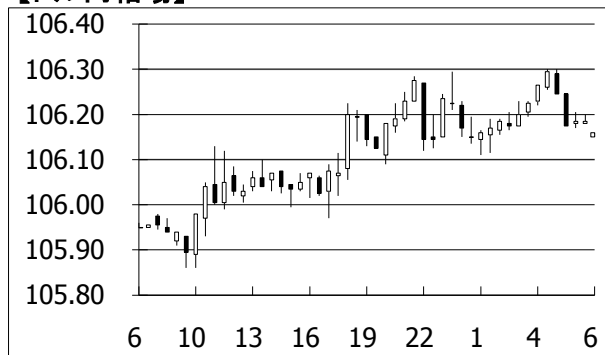
【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
9月2日	15:00	独 小売売上高(前月比)	7月 -0.9%	0.5%
	18:00	欧 PPI(前月比/前年比)	7月 0.6%/-3.3%	0.5%/-3.3%
	21:15	米 ADP雇用統計	8月 428k	1000k
	23:00	米 製造業受注(前月比)	7月 6.4%	6.1%
	23:00	米 耐久財受注(前月比)・確報	7月 11.4%	11.2%

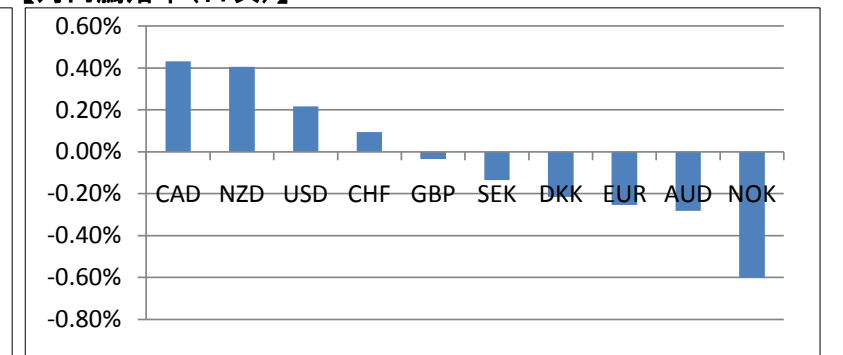
【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
9月3日	16:55	独 マークイットサービス業PMI・確報	8月	50.8
	18:00	欧 小売売上高(前月比)	7月	1.0%
	21:30	米 新規失業保険申請件数	29-Aug	950k
	21:30	米 貿易収支	7月	-\$58.0b
	22:45	米 マークイットサービス業PMI・確報	8月	54.7

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	105.70-106.70	1.1780-1.1900	125.30-126.30

【マーケット・インプレッション】

昨日の海外時間のドル/円相場は106.20付近で揉み合い推移。東京時間に対ユーロでのドル高の動きに連動し106円台を回復。NY時間にADP雇用統計が予想を大幅に下回るもドル/円の反応は限定的。106.19レベルでクローズ。

本日のドル/円相場も、動意に欠ける展開を予想するが、昨日の米経済指標が予想比弱い結果となっても下値は限定的だったことから、一旦は106円台を維持したまま次の材料探しといった展開か。ECBレーン専務理事のユーロ高牽制発言を受けてユーロが売られたこともドル円のサポートとはなっており、ドル円も底堅い推移を想定する。

■今週のドル/円 見通し

田中	竹内	筒井	加藤	牛島	山岸	田坂	尾身	上野	山口	甲斐		
ベア	ベア	ブル	ブル	ブル	ベア	ベア	ブル	ベア	ベア	ベア		
小野崎	玉井	原田	上遠野	小林	松本	大谷	大庭	逸見	木村		ブル	ベア
ブル	ベア	ベア	ベア	ベア	ベア	ベア	ブル	ベア	ベア		6	15